

働き方改革推進支援助成金活用事例集



 厚生労働省

石川労働局

働き方改革推進支援助成金とは…

中小企業における労働時間の設定の改善の促進を目的に、生産性を高めながら労働時間の縮減等に取り組む中小企業・小規模事業者や、傘下企業を支援する事業主団体に対して助成するものです。令和7年度のコース及び対象は次の通りです。

労働時間短縮・年休促進支援コース

時間外労働の削減、年次有給休暇や特別休暇の促進に向けた環境整備に取り組む中小企業事業主

勤務間インターバル導入コース

勤務間インターバル制度の導入に取り組む中小企業事業主

業種別課題対応コース

建設業、運送業、病院、情報通信業、宿泊業で、生産性を向上させ、時間外労働の削減、週休2日制の推進、勤務間インターバル制度の導入や医師の働き方改革推進に向けた環境整備に取り組む中小企業事業主

団体推進コース

中小企業事業主の団体や、その連合団体が、その傘下の事業主のうち、労働者を雇用する事業主の労働者の労働条件の改善のために、時間外労働の削減や賃金引上げに向けた取組を実施した事業主団体等

※ コースの区分は年度により異なる場合がございます。最新の情報は厚生労働省ホームページをご確認ください。



厚生労働省 働き方改革推進支援助成金

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/jikan/index.html

※ 申請に向けたご相談は、石川労働局 雇用環境・均等室までご連絡ください。

〒920-0024 石川県金沢市西念3-4-1 金沢駅西合同庁舎6階  076-292-7946

事例集掲載場所のご案内

1. 石川労働局ホームページのトップページから「働き方改革 セミナー・ハンドブック」の項目を選択してください



2. いしかわの「働き方改革」のページを下方向へスクロールして下さい



3. 「いしかわ県内の助成金活用事例について」の「働き方改革推進支援助成金活用事例集」を選択してください
(令和6年度以前の事例集も同じページに公開しております)

働き方改革推進支援助成金活用事例集 目次

令和8年 2月現在

労働時間短縮・年休促進コース

- 1.iCAD/SX-3Dの導入(有限会社 ナガセエンジニアリング 令和7年度掲載)
- 2.クラウド型遠隔アルコールチェックの設置(株式会社 川北産業 令和7年度掲載)

勤務間インターバルコース

- 1.スクリーコンプレッサーの導入(株式会社 ナカジマ鉄工所 令和7年度掲載)

業種別課題対応コース

- 1.エアブラスト機・高圧エアレス塗装機の導入(株式会社 AXIOS 令和7年度掲載)

団体推進コース

- 1.バーチャルモールへの出展(珠洲商工会議所 令和7年度掲載)

令和6年度 iCAD/SX-3Dの導入

企業の概要

【事業場名】有限会社 ナガセエンジニアリング 【所在地】金沢市
 【業種】サービス業 【労働者数】7名

助成の概要

事業に要した経費：約85万円
 助成額：約67.5万円

背景 作業時間の効率化、新たな分野への進出

【課題】

当社は、機械設計や製図を主な業務としてまいりました。
 しかし、ものづくりに挑戦するにあたり、設計・製図から製品の完成に至るまでには数多くの工程があり、時間を要する状況でした。

【課題の解決に向けた検討】

設計したものをスピーディに形にする方法を模索してきました。

取組の内容と成果

【取組の内容】

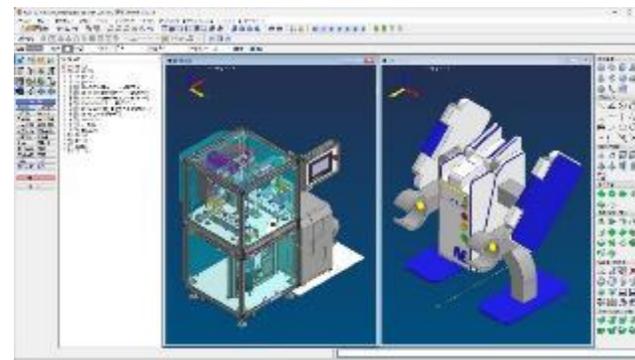
iCAD/SX-3Dの導入

【成果】

3DCADの増設により、作図時間の削減が図られました。
 また、オンライン製造サービスを利用して iCAD/SX-3Dで作成したデータをアップロードすることにより、部品の見積もり・製造・納品までが一度に行われ、試作や少量生産が格段に行いやすくなりました。
 オンライン製造サービスで作った機器を産業展で紹介し、様々な企業に興味を持っていただくことができました。

成果目標

- ・年次有給休暇の取得促進にむけた計画的付与制度(個別付与)の導入



その他の取組・今後の目標

今後も高い設計技術・製図技術を維持し、またさらに向上させることで取引先から満足していただけるサービスを提供します。
 また、当社の技術から生み出される製品を広く知っていただくことで、設計だけでなく、製品生産など、これまでとは違った価値を創造したいと考えています。

令和5年度 クラウド型遠隔アルコールチェックの設置

企業の概要

[事業所名]株式会社 川北産業 [所在地]白山市
[業種]倉庫業 [労働者数]33名

助成の概要

事業に要した経費: 約30万円 助成額:約12万円

背景

管理業務の効率化と社員の安全管理

[課題]

当社は本社と営業所があり、事業場毎に管理者を配置し、簡易型アルコールチェッカーで管理をしていました。
対面で社員一人一人点検作業を行う必要があり、労力がかかっていました。
また、事業場毎のリアルタイムの集計が取れず、本社が情報を得るまで日数がかかっていました。

[課題の解決に向けた検討]

管理者の労働時間の削減に向けて、事業場毎にリアルタイムでデータを集計・管理したいと考えました。

取組の内容と成果

[取組の内容]

クラウド型遠隔アルコールチェックの設置

[成果]

測定検査一覧には、社員の氏名、所属先、測定日時、測定数値に加えて、社員が実際に検査をしている画像が記録されます。
今まで事業場毎に検査していましたが、管理作業が一元化されたことで、リアルタイムでの集計が可能となり、点検作業に人員を一人張り付ける必要がなくなりました。
また、後から記録を検索・評価することもできるようになり、管理部門の労務の軽減に繋がりました。
加えて、日常の安全管理を徹底することに役立っています。
なお、同取組みは、グループ傘下の手取川産業株式会社、有限会社美川物流にも拡大し、管理部門の業務を効率化をしました。

成果目標

・年次有給休暇の取得促進にむけた計画的付与制度(一斉付与)の導入



その他の取組・今後の目標

今後も情報技術を活用した業務効率化やコスト削減、サービス品質の向上などを図る取組みを進める予定です。
また、弊社は健康経営優良法人の認定を受けており、労務管理・労働安全対策として勤務間インターバルの導入を検討しています。

令和6年度 スクリューコンプレッサーの導入

企業の概要 [事業場名]株式会社ナカジマ鉄工所 [所在地]金沢市
[業種]製造業 [労働者数]24名

助成の概要 事業に要した経費: 228万円 助成額:120万円

背景 メンテナンス作業等の労務負担

[課題]
工作機械ではコンプレッサーを使用する機械が多く、当社では2台のコンプレッサーを使用しています。
フィルターの掃除など、日々のメンテナンス作業に労力がかかってしまうことが課題でした。

[課題の解決に向けた検討]
性能がアップしたコンプレッサーに作業を集約することで効率を上げ、作業時間を短縮することができると考えました。

取組の内容と成果

成果目標

[取組の内容]
スクリューコンプレッサーの導入

- ・ 休息時間が11時間の勤務間インターバル制度の新規導入

- [成果]**
- ・ 従前は日々のメンテナンス作業にかかる時間として、フィルターの清掃だけでも1か月当たり10.5時間もの時間が費やされていました。
エア供給量増等の性能がアップしたスクリューコンプレッサーを導入することで、作業時間が半分となり、月5～6時間の労働時間が短縮されました。
 - ・ 勤務時間インターバル制度を新規に導入する際には、なぜ同制度を導入するのか、適切に制度を運用する際に知っておいてもらいたいこと等、従業員全員に対して制度の目的や運用方法を説明して運用を始めました。
 - ・ 取組の結果、社員の健康増進とワークライフバランスの促進に寄与できました。



その他の取組・今後の目標

令和7年度は休み方改革として時間単位年休と特別休暇(教育)を導入しました。
また、労務管理やハラスメント研修も実施し、全員一致で労働環境の改善に努めています。

(令和5年度)エアブラスト機の導入 (令和7年度)高圧エアレス塗装機の導入

企業の概要

【企業名】株式会社AXIOS 【所在地】金沢市
 【業種】総合工事業 【労働者数】4名

助成の概要

(令和5年度)事業に要した経費:約131万円 助成額:約105万円
 (令和7年度)事業に要した経費:約105万円 助成額:約 84万円

背景 新たな塗装機材の導入による労働時間の短縮

【課題】

塗装対象物に付着した塗装をを剥離する作業等、手作業で実施している工程は、非常に時間がかかり生産性が落ちていました。
 また、塗料の吹付作業は工程数が多く、作業の効率を上げるためには新たな機材を導入する必要がありました。

【課題の解決に向けた検討】

高圧力による塗装ができる機材や研磨剤を噴射するタイプの機材を導入することで、大幅な時間短縮が見込まれると判断しました。

取組の内容と成果

【取組の内容】

(令和5年度)エアブラスト機の導入 (令和7年度)高圧エアレス塗装機の導入

【成果】

- (令和5年度)エアブラスト機
 従来、塗装の剥離作業は手作業で行っており、作業時間は約2時間を要していました。
 工程の範囲が広い場合や、剥離剤の塗布が困難な箇所がある場合には、さらに時間がかかっていました。
 そこで、ノズルから研削剤を噴射して塗装を剥離する「エアブラスト機」を導入した結果、大面積の処理が効率的に行えるようになり、作業時間は従来の半分に短縮されました。
- (令和7年度)高圧エアレス塗装機
 従来の機材では、塗装面に対して複数回の吹き付けが必要でしたが、「高圧エアレス塗装機」を導入したところ、広範囲の塗装面を一度で効率的に処理できるようになりました。
 その結果、工程数が大幅に削減され、1日あたり約1時間の作業時間短縮につながりました。

成果目標

- 令和5年度
 計画的付与制度、賃金引上げ
- 令和7年度
 時間単位年次有給休暇、特別休暇(不妊治療)の導入、賃金の引き上げ



高圧エアレス塗装機



エアブラスト機

その他の取組・今後の目標

業務の洗い出しを行い、必要に応じて設備投資を実施して労働生産性を向上させたいと考えています。

令和6年度 バーチャルモールへの出展～ デジタル技術を活用した 時間や場所にとらわれない販路の拡大～

企業の概要

【団体名】 珠洲商工会議所 【所在地】 珠洲市
【構成事業主】 497社 【参加事業主】8社

助成の概要

事業に要した経費:約 90万円 助成額:約 90万円

背景

【課題】

令和6年1月1日に発生した能登半島地震のため、多くの会員企業が被災し、店舗運営が持続できなくなりました。
倒壊・半倒壊した建屋から商品を取り出すことができず、商品を対外的にPRしたくても、これがかなわない企業も散見されました。

【課題の解決に向けた検討】

震災からの迅速な復興支援と再建が大きな課題となっていました。
販路拡大等の実現を図るための展示会の開催及び出展の事業を現地で開催できないことから、対策を講ずる必要がありました。

取組の内容と成果

【取組の内容】

「バーチャルモール」、「MADE FROM2025 東京・青山展」、「MADE FROM2025 ザ・リッツ・カールトン東京展」、「MADE FROM2025 東京・丸の内展」出展

【成果】

バーチャルモールを活用することで、被災企業が24時間自社製品のPRできるようになりました。
特に、VR技術を活用して、世界中どこからでも会員企業のものづくり現場を体験することが可能となりました。
携帯電話からでも参画することができるため、場所と時間を選ばず、事業者の販路開拓やお客様の購買行動にもつなげることができました。
また、販路開拓モールを加え、リアル体験の融合による支援で、地域産業の継続的な成長を促しました。



その他の取組・今後の目標

今後も、インターネットを通して、「モノづくりの産地」の発信とオンラインによる販路開拓を模索します。